



願いをこめて「ちんころ作り」

園長 大矢 晃子

1月27日に西幼稚園で「親子ちんころ作り講座」を開きました。これは、子育てを支えるための活動として園が取組んでいるリカレント教育の一つです。「ちんころ」は、新潟県十日町市に明治、大正頃から伝わる伝統工芸品で、この季節に米粉で作る縁起物の小さなお人形です。昔は子どもの遊び道具として、家庭に飾られ食べていたとのこと。



この伝統を先祖代々受け継いでいる方が、田齋 忍さんです。当園の保護者でもある田齋さんから、去年は子どもたちに「ちんころ作り」を教えてくださいました。小さな子どもでも楽しく作ることができたので、今年は親子で作ことにしました。田齋さんが教えてくれる「ちんころ」は、材料にもこだわりがあり、指定農家さんから新米を取り寄せ、自家で米粉にして絶妙な温度と水量でこねて生地を作ります。代々受け継がれてきた材料と工程で、つやつやの色鮮やかなものが出来上がるのです。



まだ、温かい米粉の生地を手で丸めたり伸ばしたりして、色は食紅で付けて作ります。

田齋さんの伝統のちんころは、犬、猫、うさぎと作るものが決められているとのことですが、子どもたちは自分のイメージを膨らませながら思い思いに作っていました。保護者の方も、子どもや近くのお母さんと一緒に作りながら和気あいあいとした様子で楽しそうでした。子育て中のお母さんは、なかなか自分の時間はとりにくいと思います。大人になっても、今までやったことのないことに挑戦し、新しいことを知ることは嬉しいものです。親子で作ったものはお家に持ち帰りました。きっと家庭でも楽しかったことが話題になったのではないのでしょうか。この思いもぜひ受け継いでいって欲しいと思いました。ご参加いただきありがとうございました。



雪遊びって楽しい!



いつものグラウンドが雪で真っ白。子どもたちは大喜びで、雪の感触を確かめながら、遊び出していました。



「おには～そと! ふくは～うち!」

2月3日は、節分の豆まきをしました。それぞれ子どもたちが工夫した鬼のお面をつけて、登場です。最後は福の神さまからもらった豆で、悪い鬼を追い払いました。あたたかな春が来ますように。



先生たちの劇「おにのよめさん」を見て、子どもたちはハラハラドキドキ、昔ばなしを楽しんでいました。

